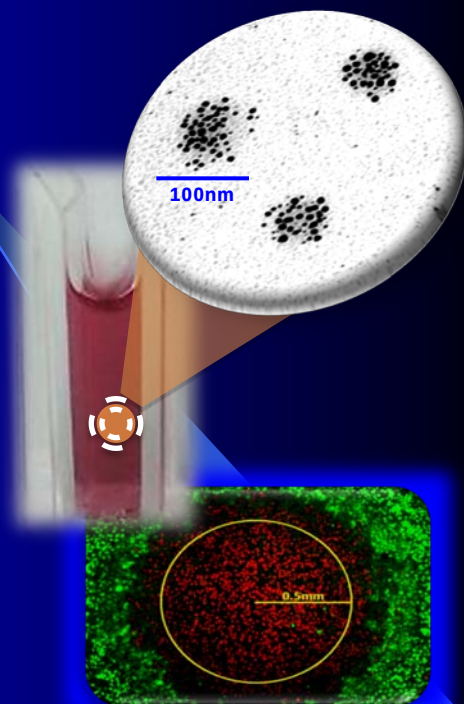

第一回学際物質戦略イニシアチブ バイオグループシンポジウム 可視化と治療

- 9:45-10:00 ご挨拶 長崎幸夫
- 10:00-10:40 分子間相互作用に基づく細胞内イオン・分子のセンシングと新しい薬剤の設計・合成
東京理科大学薬 青木 伸
- 10:40-11:20 がん特異的ヘム・ポルフィリン集積現象の検討
筑波大医 松井裕史
- 11:20-12:00 可視化と治療のためのMRIの可能性
筑波大物 巨瀬勝美
- 12:00-13:20 お昼休み
- 13:20-14:00 小線量放射線の免疫疾患治療への応用の可能性
東京理科大学薬 小島周二
- 14:00-14:40 ホウ素DDSを用いた病変可視化と腫瘍選択的粒子線治療
筑波大医 松村 明
- 14:40-15:20 蛍光を用いたマウスin vivoイメージング
筑波大医 三輪 佳宏
- 15:20-15:40 休憩
- 15:40-16:20 PET装置を用いた腫瘍イメージング
国立がんセンター 藤井博史
- 16:20-17:00 X線イメージング
東京理科大学DDSセ 安藤正海
- 17:00-17:40 電磁波とナノ粒子のコラボレーション
筑波大学物質 長崎幸夫



17:40-19:40 ポスター発表(総合研究棟B112)

2009年1月 6日(火)

筑波大学総合研究棟B110

主催 筑波大学学際物質戦略イニシアチブ

共済 筑波大学付属病院

共済 東京理科大学薬学部・総合研究機構

共催 国際ナノアーキテクトニクス研究センター

共催 文部科学省重点領域研究「ライフサーベイヤ」

